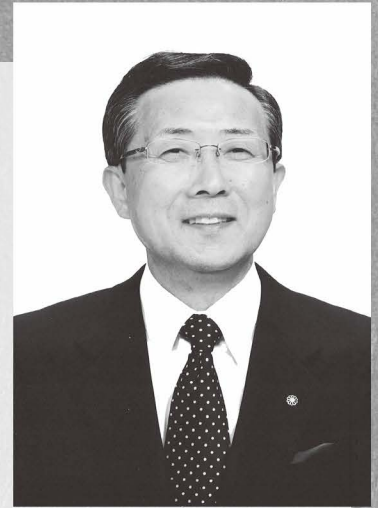


でとうございます



賀正

「『郷土愛を育む力』をまちづくりに」

積丹町長 松井秀紀

明けましておめでとうございます。

平成29年の新しい年を町民の皆さんとともに元気で迎えることができましたことを、大変嬉しく思います。

おかげさまで、私も3期目の町政を担当しましてから6カ月が経ちました。

人口の減少や基幹産業の低迷、安全な暮らしなど多くの課題と町の将来を案じながらも、町民の皆さんひとり一人が誰よりも郷土積丹を愛し、『私の願い』にいつも真剣に耳を傾け、そして励ましの声に接するたびに勇気づけられ、力づけられてまいりました。

そうした町民の皆さんの深いご理解と、温かいご支援に心から感謝とお礼を申し上げます。

昨年は、積丹半島の先端の地に『積丹町』が誕生して60年の歩みを振り返り、新たな町づくりの歴史を目指す節目の年でありました。

あの懐かしい唱歌『ふるさと』を記念コンサートで共に合唱し、目を潤ませる多くの皆さんの姿に、まちづくりには郷土愛を育むこと、町民ひとり一人が力を合わせるこの大切さを学びました。

また、半世紀に及ぶ町の懸案、美国川河川改修工事の難関「美国橋の架替」がその姿を現し、地域に開かれた運営に期

待を寄せる町内初の特別養護老人ホーム「ゆうるり」がオープンするなど、懸案課題のひとつ一つの解決に、町の新たな歩みがありました。

新しく迎えた平成29年は、世界的にも政治・経済・平和・社会構造などの転換期にあつて、我が国では、経済再生による消費増税10%を前提にした介護、子育て、医療など社会保障制度の充実と国の財政再建との両立の実現が、今なお難しい情勢が続いており、国民と地方の負担増が今後の全国の自治体行財政運営にとつても厳しさを再来が予想されます。

そして、新たな津波対策の本格化や高齢者の冬の暮らし、子育て、地方の創生、特別会計の健全化など、我が町の数多くの懸案課題の克服に取り組んでいかなければなりません。

私は、町民の皆さんのご理解とご協力をいただき、そして国や道、民間機関や多くの積丹ファンの方々との信頼関係を大切にしながら、議員の皆さんと英知を結集し、町民の皆さんと郷土愛を育む力を合わせて、私たちの「ふるさと積丹」のまちづくりに弛まぬ努力を続けてまいりたいと思います。

希望に輝く新春を迎えて、町民の皆さんのご多幸とご健勝を心から祈念し、年頭のご挨拶といたします。

2017年 新年おめ



迎春

「安心して住めるまちを目指して」

積丹町議会議長 佐藤 盛 男

新年あけましておめでとうございます。
町民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた平成29年の新春を晴れやかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

年頭にあたり、積丹町議会を代表しまして謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

また、皆さま方には常日頃から町議会に対し深いご理解とご協力を賜りまして、心からお礼を申し上げます。

昨年を振り返ってみますと熊本・鳥取・福島県での相次ぐ大地震、8月には北海道に3つの台風が次々に上陸し、更に4つ目の台風が接近し甚大な被害をもたらした自然災害の多い一年となりました。

更には、去る11月18日にJR北海道が自社単独では維持することが困難な線区として10路線13線区1、237kmを発表し、今後、路線廃止に伴うバス転換などを軸に沿線自治体との協議に入るとしており、関係市町村に大きな衝撃が走ったところでもあります。

このように地方は、歯止めのかからない人口減少問題、社会保障給付費の増加、地域公共交通の撤退・縮小、空き家・空き店舗などさまざまな課題に直面しております。

こうした地域経済が急速に縮小していくことを克服するた

め、政府は人口急減・超高齢化社会という我が国が直面する大きな課題に対し政府と地方が一体となって取り組み、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生できるよう地方創生の推進に取り組んでいくとしています。

平成29年度は、積丹町においても、人口減少を抑制するために必要な方向性と取り組む内容を示した平成27年度から平成31年度までの「積丹町総合戦略」5カ年の計画の3年目となります。

この計画の実施にあたって議会と町長部局（執行機関）は、政策提案から執行までの政策過程全般にわたって互いに知恵を出し合いながら、町民の皆さまの声を汲み取り、しっかりと取り組んでいかなければならないと考えております。

新たな年を迎え、町議会といたしましても、その役割と責任の重さを自覚し、責任世代としての役割をしっかりと担い、町民一人ひとりが「このまちに住んでよかった」と実感できるまちづくりの全力を傾注する覚悟であります。

これからも積丹町議会に対しまして特段のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます、新年にあたってのご挨拶とさせていただきます。